



# 赤祖父ゆみ

湖南省議会議員

3月議会報告書

NO.51

2017年 4月

TEL/FAX 0748-77-5437

無断での複写・転用を禁じます。

♪ご意見お待ちしております。

[発行責任者：赤祖父ゆみ]

アドレス：[pengin-fight.6.6.3.9@zeus.eonet.ne.jp](mailto:pengin-fight.6.6.3.9@zeus.eonet.ne.jp)

ホームページ：<http://akasofu-yumi.net/>



“さくらの花”満開の中、  
今年度もスタートしました。

花の息吹を感じながら、また新たなステージ  
へとコマを進めていきましょう。

人口減少社会、少子高齢化など、湖南省もこれらの課題は、ますます深刻化してきます。若者の非正規労働者は増え、格差は広がり、中小企業の賃金は上がらず、奨学金の返済に

追われている若者が増えています。また、保育を必要とする子どもや、要介護者は増えているのに、その賃金の低さなどから、保育士や介護士の数が足りていないのが現状です。今後ますます深刻化する兆しがあり、大変不安な社会状況となっています。国への要望もしていかななくては行けません、湖南省としてどう乗り切るのか。各市町の手腕が今、試されています。

今議会に第三次湖南省行政改革大綱が提案されました。この中で明らかにされたことは、普通交付税が合併算定替の修了により、5年間で13億円減少すること、そして、公共施設の大量更新が必要となり、その数は全国平均より多く、その更新費用は現在の約2倍の費用が必要となるという事です。昨年10月に策定されました「きらめき・ときめき・こなん元気創生 総合戦略」に基づき、第二次総合計画が今年4月に制定され、その計画に沿ってまちづくりが進められていきます。市民ニーズが多様化する中において、「税の更なる有効活用」「自主財源の確保と公平な受益者負担」「市民主体のまちづくり」が実現のための柱と位置付け、行政改革懇談会から提言をいただいています。

今後ますます、2元代表制である議会の役割は大きく、第二次湖南省行政改革大綱の積み残した課題、「東西庁舎の機能の見直し」「私有財産の売却および有効活用」「外郭団体の見直し」など進めるに当たっては、市民の皆さんにしっかりご意見をお聞きして、決定していきたいと思えます。5月には、中学校区4箇所での議会との意見交換会の場を設けます。多くの皆様の参加をお待ちしています。そして、この湖南省が他市と比べ、“住みやすいまち”“やさしくなれるまち”となりますように、みなさんと一緒に創り上げて行きたいと思えます。

“きらめく湖南省”実現のために、どうか力をお貸してください。

赤祖父 ゆみ

## 予算常任委員会



甲西中学校建替事業約 17 億円をはじめ、継続事業として、三雲駅周辺整備事業の駅舎の改築、石部小学校建替事業など、大型事業が重なったことに加え、地域創生を加速させるため、市民産業交流促進施設の整備費や内陸型国際物流ターミナル構想における事業化検討経費、そして子育て環境づくりとして、認定子ども園の移行経費などが重なり、今年度一般会計当初予算は 227 億 1000 万円 (対前年度比 7%増) の湖南省発足以来、過去最大の予算となりました。

### 湖南省一般会計予算に賛成討論！

○税の「公平負担の原則」に則り、滞納繰越金の徴収に向けては、各課横の連携をとりながら、厳しい態度で臨むこと

○地方債の発行計画や財政調整基金の取り崩しは、今後のまちづくり事業の大きな財源となることから、むやみに取り崩さないように、長期財政計画に基づいて健全に運用されること

○行政改革を進めるにあたっては、今の財政状況を公開して、改革内容を理解、納得しながら市民と一緒に進める事

○事業が形骸化していないか、ゼロベースでの事業の見直しをし、絶えず市民のためになっているか、検証をすること

○経常収支比率を下げるため、5%一律のシーリングがおこなわれたが、特に子どもを育む教育予算などは下げてはならないところもあったのではないかと

○時間外手当約 1 億 2000 万円を徹底的に精査して、保育士をはじめとする臨時職員、嘱託職員の賃金を少しでもあげること

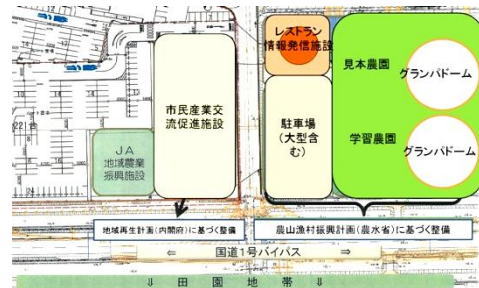
○新年度の事業が多いことから、各課の事務量を調整して、過度な労働とならないよう、ストレスチェックをおこなうこと

○専門職員はその専門が活かせるよう配置されることが望ましい。

・などの意見を申し添え、弱者が切り捨てられることなく、1人1人が大切にされるまちづくりを切望して賛成をしました。



## 産業経済常任委員会



### (仮称)「みらい公園湖南」整備概要！

コンセプトは？

- ①第1次・第2次・第3次産業の未来を描く
- ②稲作から園芸への転換。高機能野菜の栽培
- ③市内事業所の最新の設備を導入し紹介する
- ④地産地消による地元で採れたものを販売する。

市民産業交流促進施設は、平成 28 年 10 月頃完成予定。大変期待をしています。

### ヘイトスピーチ対策について意見書採択



特定の国や民族を排斥する差別的言動を許さない法整備の強化を求めた意見書が全員賛成で採択され、国へ提出されました。

### 3/28 甲賀広域行政組合議会報告



事業系可燃ごみ処分手数料が 10 キログラム 180 円から 220 円に改定されました。近年増加しているごみの量を減らす狙いがあります。

総額 37 億 6699 万円 (対前年比 12.7%増) 要因としては、消防の高機能指令施設整備、白煙防止用空気予熱器改修及び消防救急デジタル無線整備に係る元金償還が始まることなどがあげられます。ごみ処理施設の維持補修費に約 2 億 5738 万 3000 円が見込まれています。特に事業系のごみに不燃物を混入させないチェック体制強化の一般質問をしました。稼働から 21 年目を迎え、今後基幹的設備改修を行う必要があります。



一般質問 食べることから考えた・  
「健康施策」「6次産業」でまちおこし!

**問** 湖南省の厳しい財政状況を打破するためには如何に歳入を増やすか、扶助費を減らしていくか?にかかっています。安全で美味しいものは必ず売れる。市民産業交流促進施設での湖南省の特産品、6次産業の取り組みと考え方は

**答** 6次産業は雇用と所得を確保し、若者が定住できる社会をつくる。農林漁業生産と加工販売の一体化や地域資源を活用した新産業の創出を促進するなどにより地域がつながると理解しています。市においても地域資源を利用した6次産業化を推進していきたい。リタイア組を含めて農業参入してもらい、地産地消を進めることで従事する側の健康づくりにもつなげたい。

**問** 市民産業交流促進施設と6次産業化をまちの活性化にどうつなげるか、課題は何か

**答** この施設は、国内はもとより世界中との物流、人流拡大を目指す地域創生の起爆剤と考えています。農業の6次産業化は農産物の付加価値やブランド力を高め農業者の所得向上と経営安定につながります。商品開発から販路開拓まで総合的な支援が必要。6次産業化に加え、子育て、教育、福祉、保健、医療、エネルギー、環境、交流などと連携する事で、産業や雇用創出を図っていききたい。6次産業に踏み出す農林業者の掘り起こしや商品開発、販路開拓の強化が必要であり、国や県の施策を有効に取り入れていきたい。

**問** スローフーズに対する考え方と学校給食への提供は

**答** 地場のもの、季節のものなど旬の食材取り入れた食事は、疾病予防、健康づくりの面からも日本食は高い評価を得ている。本市でも郷土料理や

伝統食を継承するための広報活動、健康推進委員による料理教室を行っている。食育推進計画の見直しの中で啓発していきたい。学校給食については、食育文化の学びの機会として確保していく事が大切。学校給食に安定供給できる生産量や品質の確保が重要で、地元農業者の掘り起こしを図っていききたい。

**問** 石部南学区まちづくり協議会カトレア部で「ちらし寿司」をつくり皆さんで食べました。参加者の方が「いつも一人で食べていますが、皆さんと食べてとても楽しく美味しかった」と話されました。食は命。「食」を通じて人が繋がり、まちづくりが広がるとおもいますが

**答** 「食べる」ということは、スクールコミュニティに繋がるものと考えます。

#### 家庭教育支援事業の充実



**問** ひきこもりや不登校児のお母さんにそっと寄り添って話を聞いたり、精神にリスクを負う人が気軽に集うサロン型の居場所づくり。専門家に繋げるまでの支援を福祉との連携をしながら、地域と一緒に支え合う仕組みが出来ればと思います

**答** 学校を核としたまちづくりを進めて行きます。まちづくり協議会との連携協働が必須になる。福祉としっかり連携をしていきます。

#### 市道宮ヶ谷線の歩道確保



**問** 石部南小学校までの通学路にもなっている市道宮ヶ谷線に未だ歩道がありません。この春、新1年生で登校する子どもも増え大変危険です。今までに7回質問をしてきています。進捗状況をお聞きします。

**答** 通勤通学の自転車や歩行者も多く、大変危険である事は認識しています。要望も受けていますが、工事着手のための必要な用地について、地権者と現在も裁判が継続しています。協力を得るためには、まだ時間が必要と考えます。道路整備計画にあげて、引き続き取り組みます。

活動報告!



2月9日～10日  
産業経済常任委員会研修（岐阜県美濃市、静岡県浜松市）  
・防災拠点となる道の駅  
・内陸コンテナ基地を視察



2月8日  
国際女性デー  
南草津駅でマイクをもたせていただきました。女性の尊厳が守られる社会実現を!



3月16日  
産業経済常任委員会で栗東水口道路、新しく開通した栗東湖南ICを視察しました。



3月30日  
石部小学校お祝い式  
念願であった校舎が建て替えられました。木の香りのする学校です



1月6日 連合滋賀新春の集い



1月10日 長寿寺 鬼走り



1月26日 連合滋賀制度要求



1月31日 D1だじゃれグランプリ



2月6日 林久美子新春の集い



2月11日 冬の酒蔵めぐり



2月28日 ウォーク&駅伝



3月1日 ちらし寿司づくり



3月6日 早春コンサート



3月12日 春季生活闘争

1月

- 7日 全国競馬労働組合旗びらき
- 8日 議会改革推進特別委員会
- 9日 教職員組合70周年記念レセプション
- 10日 消防出初め式
- 11日 こなんアンサンブルフェスティバル
- 12日 予算常任委員会協議会
- 15日 連合滋賀4区新春のつどい
- 16日 3大事務局研究会合同シンポジウム
- 17日 全国競馬新春懇談会
- 18日 議会運営の基本と戦略
- 19日 食の知恵袋南小学校・自治労団結旗開き
- 20日 産業経済常任委員会・議会議長会議員研修
- 26日 みやのもり運営会議
- 27日 質問力を高め、議会力に活かす研修

2月

- 2日 「北方領土の日」県民のつどい
- 3日 外部評価委員会傍聴、生活困窮支援シンポジウム
- 4日 第10回民主党地方自治体フォーラム
- 7日 龍谷大学第7回質問力研修
- 8日 議会改革推進特別委員会
- 12日 防災研究会と人権学習会研修
- 13日 石部中学校人権フェスタ
- 14日 橋川わたる出陣式・在宅医療推進フォーラム
- 15日 「助け合い・支え合い自立した地域の姿」プロジェクト
- 20日 人権教育研究大会
- 21日 国際協会ボランティア研修会
- 23日 第5回経済政策研究会 by 徳永ひさし
- 26日 障害者差別解消法学習会
- 27日 にぎわい広場

3月

- 4日 山中慎介 V10 防衛戦
- 4～24日 3月議会定例議会（28日間）
- 13日 「読む力が未来ひらく～」講習会
- 15日 石部中学校卒業式
- 17日 石部南幼稚園卒園式
- 18日 石部南小学校卒業式
- 20日 甲西吹奏楽団ジュニアバンド演奏会
- 25日 阿星保育園卒園式
- 26日 コナン市民共同発電所お披露目式
- 28日 甲賀広域行政組合議会

4月

- 2日 民進党滋賀県第4区総支部第1回定期大会

市民と議会の  
まちづくりトーク（議会報告会）

- 5月13日（金） 菩提寺まちづくりセンター
  - 5月14日（土） サンヒルズ甲西
  - 5月20日（金） 夏見会館
  - 5月21日（土） 石部まちづくりセンター
- 19時～20時30分  
皆様のお越しをお待ちしています!

